

同和
鉱業

餌釣鉱山が操業を開始

……期待される地域経済への好影響……

同和鉱業花岡鉱業所が餌釣地区で開発を進めていた「餌釣鉱山」が、10月に開山、本格的に操業が開始されました。

同鉱山は、昭和52年10月から総工費33億円をかけて開発されていたもので、鉱床は秋葉山麓付近の地表下300mに位置し、東西約300m、南北500mにわたり、約200万tの黒鉱の埋蔵が推定されています。

これまでに掘り出した鉱石の分析結果は、1%につき、金が1.28%、銀が1.80%、銅が0.89%、鉛3.32%、亜鉛10%で、国内では最高品位の鉱石となっています。

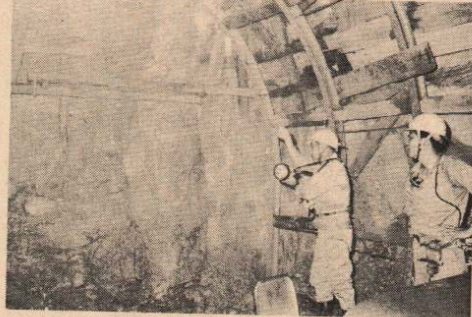
また、トラックレスマイニング(坑内無軌道方式)という国内鉱山初の新方式が採用されており、事業所のある山館沢から傾斜10度で、延長約2kmの斜坑を2本平行して掘り、採掘された鉱石は坑内専用のダンプトラックで運び出す方法になっています。

坑外に運び出された鉱石は、トラック運搬により、花岡の選鉱場に運ばれて処

理されます。さらに鉱害防止対策として構内に清澄池を設置するなど廃水処理や地盤沈下を避けるため、採掘後は火山灰とコンクリートを充てんする方式も講じられています。

本市では今まで同和と和迎内2社の操業で、月産約4万tの黒鉱を産出しており、その量は金国一を誇っていますが、今後は餌釣鉱山分1万tを加えて、月産5万tになります。

長期にわたる銅価の低迷により、不況の続いた非鉄金属業界も最近是好転の方向にあり、餌釣鉱山の開山は、鉱山界の



高品位の黒鉱がビッシリの餌釣鉱山坑内

みならず地域全体に活気を与え、関連産業をはじめ地域経済への好影響が期待されています。



幼児からお年寄りまでが楽しい1日

第13回市民運動会 好天に恵まれ1,500人参加

絶好の秋晴れに恵まれた10月10日体育の日、第13回大館市民運動会が行われました。会場の城南小学校グラウンドには幼児から老人まで約1,500人が参加し、各種目で日頃の体力づくりの成果を競い合い、体育の日にふさわしい一日でした。

開会式では、昭和54年度第11回大館市スポーツ賞を日本陸連終身一種公認審判員として活躍している浅野福蔵さん他12名、2団体が受賞しました。

午前10時、単位体協リレーで競技が始まり、小学校低学年60m競争、年代別競争、町内子供会対抗綱引き、親子操縦競争、二人三脚、婦人リレーなどの競技が行われ熱戦が繰り広げられました

大館市スポーツ賞を受賞された方は次のとおりです。

＜功労賞＞陸上競技 浅野福造(教育指導員)・柔道 泉栄一郎(無職)・野球 福田博(国鉄職員)

＜栄光賞＞ライフル 成田和夫(会社員)・水泳 伊勢善和(教員)・貝森登(無職)・陸上 富經真理子(教員)

＜特別栄光賞＞体操 山石雅子(高2)・陸上 秋元一彦(高3)、越山満(高3)、佐々木弘美(中3) 武田正弘(中3)、柴田美由紀(中1)。

＜団体特別賞＞バレーボール 大館桂高校バレーボール部(12名)・陸上競技大館商業高校陸上部(4名)

社会保険相談

11月20日(火)

場所・市役所第1会議室

時間・10時～15時

あなたのやさしさを隣人に 共同募金運動実施中

今年も10月1日から、赤い羽根の共同募金運動が始まっています。この運動はお互いの助け合い精神によって、わたしたちの手で、めぐまれない人たちの生活の向上をはかるなどの福祉活動に必要な資金を集めているものです。

共同募金の運動母体である社会福祉法人中央共同募金会では、約1,000億円達成をめざして、みなさんのご協力をよびかけています。

今年の大館市の募金目標額は、1,085万円(1戸当たり450円)で、10月20日までに約400万円の募金をいただいています。

また、12月1日からは、「歳末たすけあい募金」も始まります。みなさんのご協力をお願いします。



市長自ら街頭での募金運動

交通事故相談

11月13日(火)

20日(火)

27日(火)

場所 市役所第1会議室

(20日は第2会議室)

時間・10時～16時

灯油ヤ一イ

「有資源」が唱えられてから久しい。そして決って危機感に当たった時に限ります。特に冬場を迎えようとしての灯油の確保と価格の不安の大きい時だけに、一過性の有資源論であってはならないと思います。

市民の不安をなくしたいという立場から、去る10月4日エネルギー庁次長に陳情をしてきましたが、どうしても納得ができませんでした。それもそのはずです。

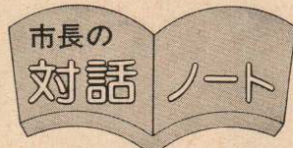
「量の不足は絶対に起こさせない、しかし価格については仕方のないことだ」というのです。真意は高い価格にしなければ省エネルギーとならないということなのです。とんでもないことです。価格が安からうが高からうが省エネルギーを行動で示すのは当然のことなのです。節約をしつつ、量の確保と価格安のために共に頑張りたいと思います。

若返りの名薬に

去る6日、同和鉱業餌釣鉱山が開山しましたが、この祝賀会で小森社長さんが「これで、また当分若返りができました。今後とも採掘を続け山の若返りに努めたいと思います」とご挨拶がありました。

鉱山とて有資源、掘りつくせばなくなります。新しい

鉱床の発見こそ若返ることです。しかも当市は全国一の鉱山まちです。鉱山が若返ることは市全体が若返ることです。この餌釣鉱山の開山が大館市の若返りの名薬にしなければならないと考え、努力していきたいと存じますのでよろしくご協力をお願いします。



No. 5

健康はつくるもの

体育の日を中心に、13回目のスポーツ祭が開かれました。私たちがスポーツを楽しむことには、スポーツを通じて「ルールを守る」「チームプレー(相互扶助)」「健康づくり」の3つの社会生活上欠くことのできないことが自然に身につくことなるのです。

健康は与えられたものではありません。自らの努力の結果がもたらすものです。だからと云って苦痛、悲痛を

押しつけて努力してまでも……ではなく、楽しみながらつくる健康、それこそスポーツです。市民皆スポーツ、そこにこそ活力溢れる街づくりに通ずる原動力があると考えます。

花輪線の複線電化

岩手、秋田の関係市町村長ともども、運輸省、国鉄にそれぞれ強力な陳情をしてきましたが、どうも期待したほど色よい返事がいただけませんでした。

それは、現在の花輪線の利用状況があまりよくないからということなのです。

しかし、そんな見方、とらえ方はあまりにも一面的過ぎはしないだろうか、利用状況が悪いから今のままで良いとしたら、ますます悪くなるばかりでしょう。ましてや東北も高速道時代、しかも新幹線時代です。この競合に打勝つためには、新幹線を利用するロケット線があればこそ考えるからです。

あまりの近視眼こそ大系にそむくことではないでしょうか、そういう立場で少々きつい陳情をしてきましたがこれからも頑張っていきたいと思っています。

文化の月、季節変わり時の時でもあります、お互いに健康に気をつけたいものです。

鳥山 恒太郎